

全国発信記事 ▲▽▲▽ 気仙沼支部・小名浜支部

宮城県気仙沼港から大漁めざし出港！ — 遠洋マグロはえ縄漁船 — 「第1漁吉丸」「第35漁福丸」出船送り

春深まる4月21日、気仙沼港において株式会社カネダイの新造・遠洋マグロはえ縄漁船「第一漁吉丸」が出港した。本船は、資源管理・労働環境改善型の漁船として、水産庁の「もうかる漁業創設支援事業」の認定を受けて建造され、2月2日に気仙沼港に入港し、出港の準備を進めていた。そして4月27日には、株式会社漁福の遠洋マグロはえ縄漁船「第35漁福丸」も大漁目指し気仙沼港から出港した

日本の魚食文化を守る

第一漁吉丸

新造船・第一漁吉丸の最大の特徴は、低重心の船型で航行中の安定性やエンジン排熱の利用で低燃費化を図ったこと。また、後継者確保・育成のため、居住区やインターネット環境を整備し、作業負担を軽減するため、省力機器の導入を積極的に行い乗組員の労働環境に配慮した造りとなっている。

出船送りでは、新型コロナウイルスの感染防止のため、マスクの着用や消毒を徹底した。澄んだ青空の下、本船が岸壁を離れると駆け付けた多くの人が五色のテープを持ち、大漁旗を振って見送る中、汽笛を鳴らし漁場に向かった。

第35漁福丸

出港時に佐々木清晴漁労長が船内マイクで「頑張ってください。乗組員全員が元気で帰ってきます。お見送りありがとうございます」とあいさつし、見送りにきた乗組員の家族は「行ってらっしゃい。頑張ってくださいね」と大きく手を振り安全航海・操業を祈った。

「海員だより」